

「2016年の回顧と2017年の展望」

～景気回復に向けていま為すべきことは～

2017年2月23日
機械金属部会
池辺

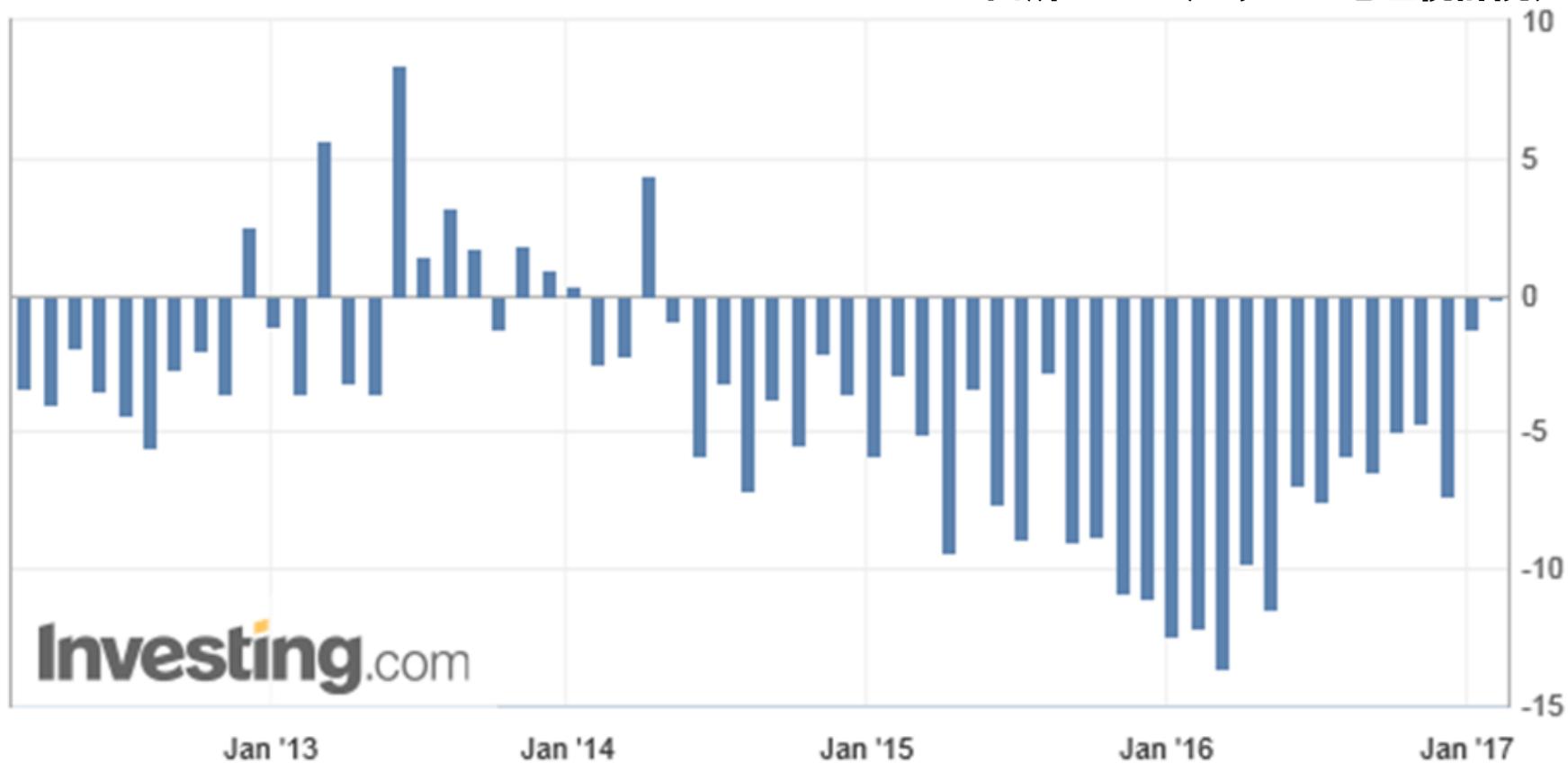
1. マクロ指標関連
2. セグメント別状況
業種・分野別分類

- (1) 鉄鋼
- (2) 電力・社会インフラ
- (3) 建設機械・業務用空調
- (4) 切削工具・ベアリング
- (5) トラクター
- (6) 産業機械(非汎用圧縮機・ポンプ)

3. 副題-景気回復に向けていま為すべきことは-

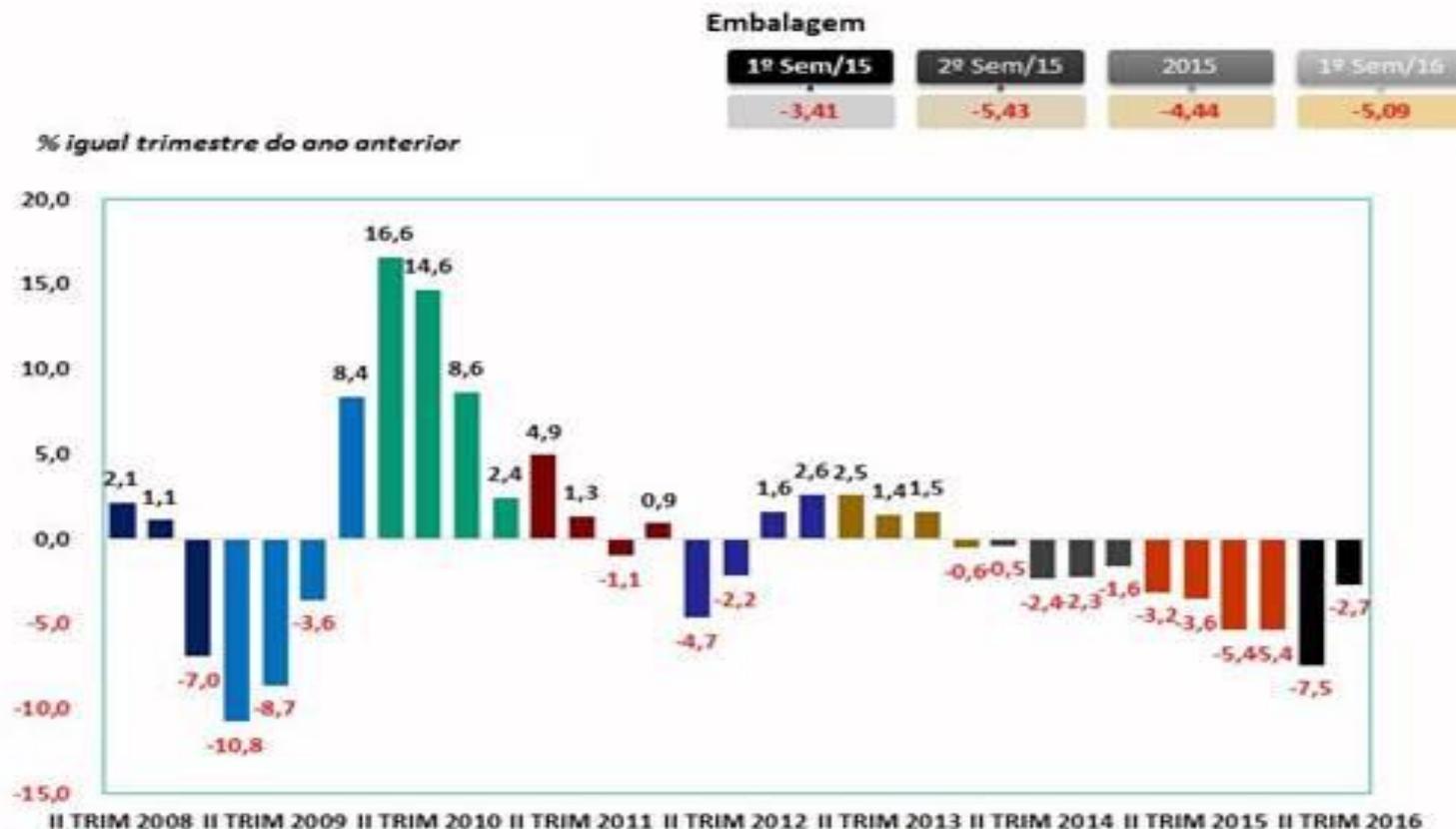
ブラジル鉱工業生産 対前年の推移

出所: IBGE(ブラジル地理統計院)



ダンボール生産 対前年同期比の推移 出所: IBGE(ブラジル地理統計院)

PRODUÇÃO FÍSICA DE EMBALAGEM



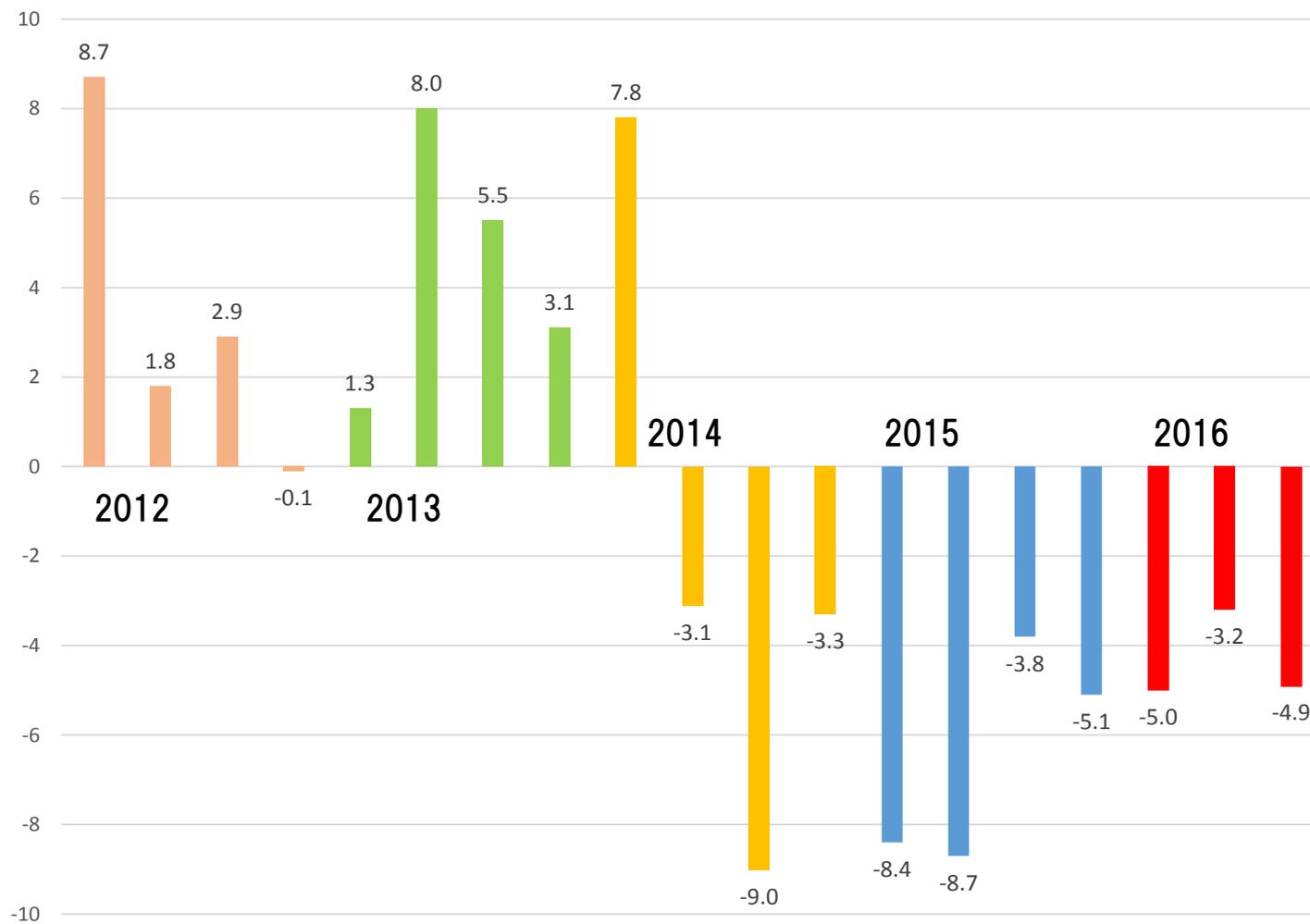
Fonte: IBGE
Elaboração: FGV

Indústria Geral

1º Sem/15	2º Sem/15	2015	1º Sem/16
-5,92	-10,41	-8,27	-9,10

建設実績 対前年同期比推移

出所: CBIC(ブラジル建設業協会)



1. マクロ指標関連
2. セグメント別状況
業種・分野別分類

- (1) 鉄鋼
- (2) 電力・社会インフラ
- (3) 建設機械・業務用空調
- (4) 切削工具・ベアリング
- (5) トラクター
- (6) 産業機械(非汎用圧縮機・ポンプ)

3. 副題-景気回復に向けていま為すべきことは-

伯鉄鋼生産関連情報 (伯鉄鋼協会)

粗鋼生産量推移 (Kトン)



2016年実績

数量は千トン、前年同期比

	生産		国内販売		輸出	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
粗鋼	30,212	▲9%	16,524	▲9%	13,432	▲2%
圧延鋼板	12,274	▲8%	9,401	▲4%	3,088	▲12%
型鋼	8,620	▲7%	6,811	▲16%	1,706	27%
スラブ	6,913	▲13%	180	▲19%	8,638	▲3%
他	1,394	23%	132	32%		

輸入 1,880 ▲41%

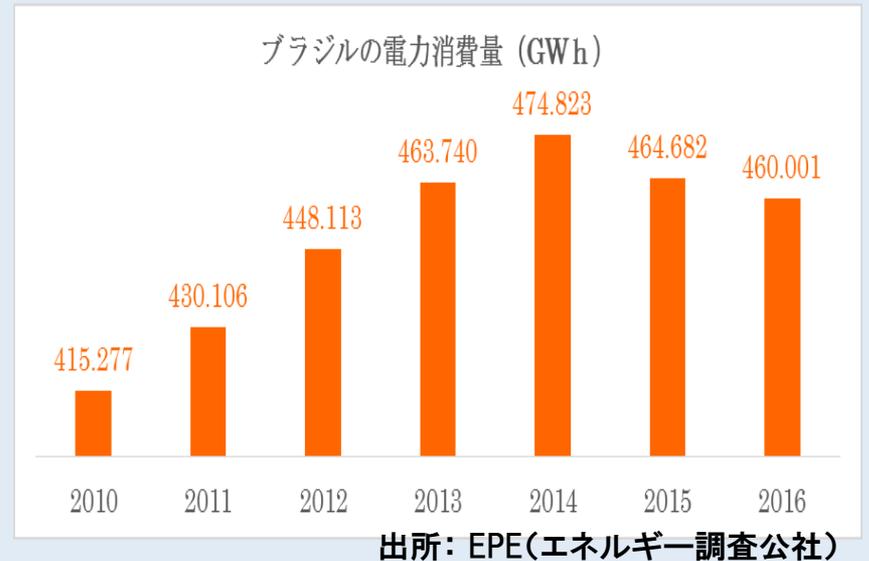
- ・ ブラジル鋼材需要の約80% (自動車・建設・機械) の需要低下→5年連続の生産減
- ・ 鉄鋼各社設備の閉鎖、休止
→ 主要5社 (Usiminas/CSN/Gerdau/AMB/CSA) 高炉14基中3基休止 (稼働率55~60%)
- ・ 輸出: 16年前半リアル安もあり17%伸びたが、通年▲2% (リアル高/世界的供給過剰)
- ・ 輸入: 国内需要低迷、リアル安→前年比▲41% (前半▲64%)

〈2017年展望〉

- ・ 国内需要の緩やかな回復により、生産も微増を予想
- ・ 米国に続き、欧州でも熱延鋼板のAD調査開始 → 鋼板輸出は減少か

電力

- ・ 経済活動の停滞により電力消費は2015年比1.0%減少
- ・ 工業分野の電力消費は過去32カ月間減少
2016年12月0.9%増加し、2ヶ月連続の増加
2017年工業電力の需要増大予想
- ・ 発電容量9.5GW、6.7%増加(新規水力/風力発電稼働開始) 電力需給ギャップ拡大
- ・ 2016年A-5エネルギーオークションの新設案件395MW (2005-15年平均3.6GWの1/10程度)
- ・ 2017年も新規発電案件期待薄で、電力会社の設備投資も低調予想



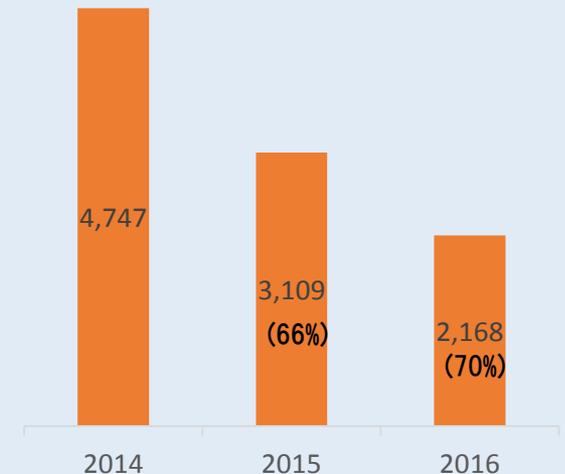
都市交通

- ・ サンパウロ州政府の投資：
2016年 82.5億リアル 対2015年比 11.7%減 (対2014年比 44.5%減)
最大削減分野は、地下鉄/州都近郊鉄道を含めた交通輸送分野
当初予算173億リアル→130億リアル(25%削減)
特に資材機器の調達経費は、当初予算65億リアル→42億リアル(35%削減)
⇒ 地下鉄/州都近郊鉄道の殆どの路線の拡張工事も一時中止や先送り
- ・ 2017年 (コンセッション) 民営化による工事等継続図るも、2018年以降か

建機

- ・ 建設需要の落ち込みに加え、建設機械の昨年末ICMS減免措置廃止憶測で駆け込み需要発生→2016年1～2月反動で激減
油圧ショベル出荷2年で半減
- ・ 小型建機(小型バックホー)販売も、2016年前年比▲47%
(2015年 前年比▲42%) ⇒ 2016年 対2014年比約30%
- ・ 農業、製造業、墓地等非建設用途需要開拓で凌ぐ

油圧ショベル出荷台数推移



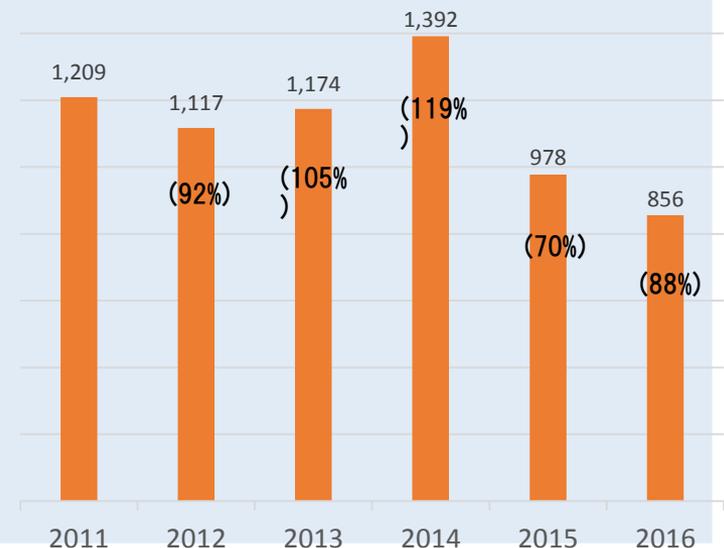
業務用空調

- ・ ビル・工場等の建設減による需要減：
2016年▲12% (2015年 前年比▲30%)

〈2017年展望〉

- ・ 建設業界の回復は2018年以降と予測
- ・ 建機、業務用空調共に、2017年も減少はなくとも横ばい、又は微増

業務用空調需要推移 (K冷凍トン)

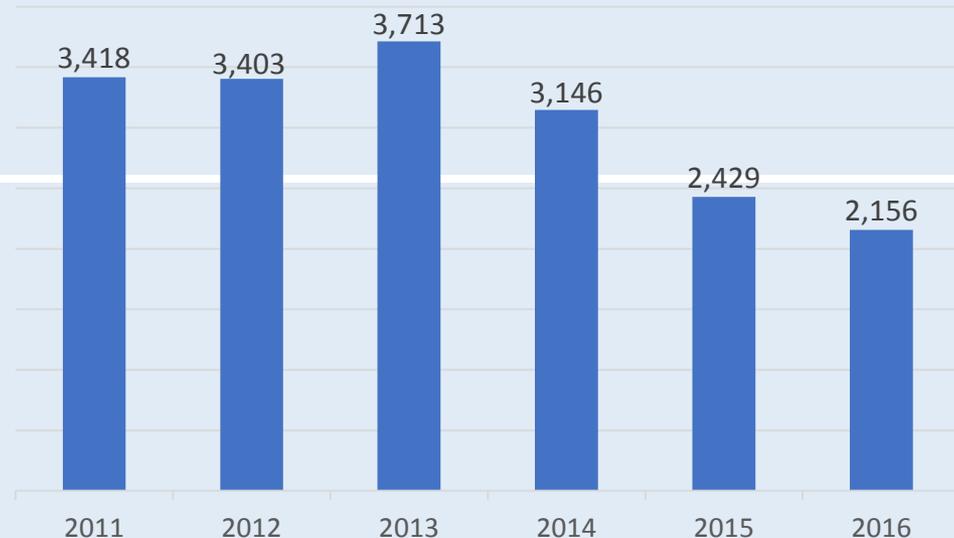


主要顧客先は自動車業界

- 自動車生産4年連続減少
- 2016年 対前年比 ▲11%
対2013年比 ▲42%
- 2017年 対2016年 12%増産予想

自動車生産台数推移 (K台)

出所: Anfavea(自動車生産者協会)



切削工具

- 2016年/2017年継続して
- 自動車業界向け落ち込みを、航空機、医療機器他でカバー
 - 他社からのシェア奪取

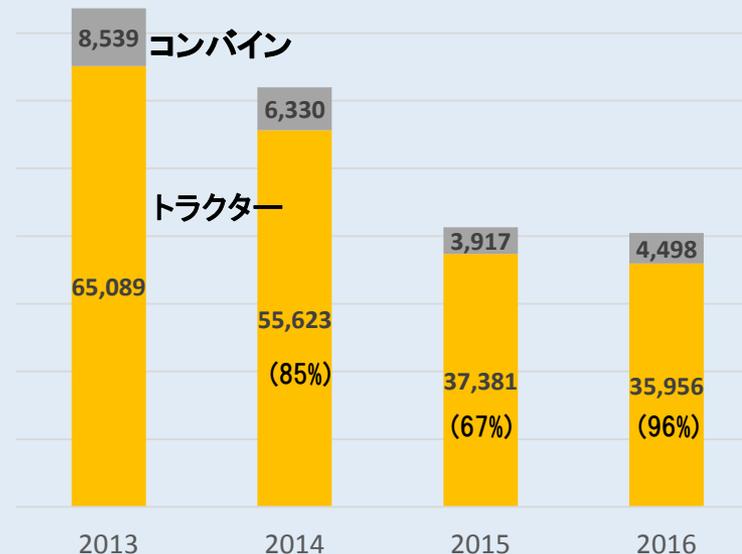
ベアリング

- 自動車に加え、二輪の落ち込みは更に深刻であった。
一方、消費者向けアフターマーケット需要、比較的堅調。(新車買い控えで現有車修理)
- 一般産業機械向けも限定的
- 2017年自動車生産は若干回復予想も、モデルチェンジの関係もあり、本格回復は数年後

トラクター

- ・ 需要：前年比▲4%（2014年 ▲15%、2015年 ▲33%の後底入れ感）
- ・ 農業堅調、政府の農業向け低利融資再開で回復基調
- ・ 2017年：農作物収量増予測され、回復基調継続 → 需要15～20%増加予想

農機販売状況（台）



出所：Anfavea(自動車生産者協会)

非汎用圧縮機

- ・ PETROBRASの投資抑制、資源価格の低位安定等により主要用途である資源開発、石油精製、石油化学向け需要低迷
(石油/天然ガス生産伸び 2016年 2.9%
2015年 8.1%)

〈2017年展望〉

- ・ 原油価格の回復、プレサル鉱区におけるPETROBRASの30%以上の権益優先権の撤廃による海外資本の投資に期待

ガスコンプレッサー輸入額 (KUSD)

タイプ	2015	2016	前年比
ターボコンプレッサー	28,169	1,486	▲94.7%
レシプロコンプレッサー	31,617	10,381	▲67.2%
スクリーコンプレッサー	7,430	7,974	7.3%
合計	67,216	19,841	▲70.5%

出所: Integrated Foreign Trade System(SISCOMEX)

ポンプ

- ・ カスタムポンプ: 主要用途が製鉄、石油化学、電力プラントで、大幅需要減
- ・ 標準ポンプ: 主に農業、建築設備向けで、市場は前年比約5%増

〈2017年展望〉

- ・ 上期はほぼ現状維持、下期以降に緩やかな回復基調を予想

景気回復に向けていま為すべきことは？

- ・ コスト削減： 相対的価格競争力の強化と顧客の投資額低減
- ・ 品質向上： コスト同様品質面での競争力強化
親会社の支援も受け、技術力アップ
- ・ ソリューション提案力強化： 単品売りからの脱却
- ・ 客先情報収集： 顧客訪問（過去の中止/延期案件掘り起し）
景気回復後のご要求に対応出来る体制準備
- ・ 新規業界/顧客/地域等の開拓